



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.5月号

## 博物館こどもフェスタ2012

5月6日(日曜日)開催!!



GWの最終日、博物館では親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意して、皆さまのご来館をお待ちしています。いずれのイベントも事前申込の必要はございません。それぞれの開催時間内ならいつでも自由にご参加いただけます(ただし、イベントによっては材料がなくなり次第、終了することもあります)。どうぞ、ご期待ください。



イベント名	内容	開催時間	会場
おいしく学ぶ キッチン火山実験	ココアやチョコを使って火山実験をします。参加費200円。	10:00 ~ 12:00	科学教室
むかしのこども遊び	竹馬、ベーゴマ、大山ゴマ、あやとり、お手玉などで遊びます。	10:00 ~ 12:00	相模の家 屋外展示場
太陽をみよう	屋上で太陽を観察します。 曇天時中止。	10:00 ~ 11:00 13:00 ~ 14:00	屋上
古代生活体験 「火起こし・弓矢」	古代舞い切り式の火起こしと、古代人の狩猟技術を体験します。	10:00 ~ 15:00	屋外展示場
むかしの道具にチャレンジ	クイズに答え、石臼で粉ひきなどの体験メニューに挑戦します。	10:00 ~ 16:00	常設展示室
博物館ぶたいうら たんけんツアー	収蔵室などのバックヤードを学芸員が案内します。	11:00 ~ 11:40 14:30 ~ 15:10	館内
お団子づくり	石臼でひいた米の粉をこねてふかし、団子をつくります。	13:00 ~ 15:00	屋外展示場
小さいけど偉大な プチ化石実物図鑑づくり	丹沢産の有孔虫化石を含む石灰岩で実物標本を作ります。参加費100円。	13:00 ~ 16:00	科学教室
紙芝居	民家で紙しばいを演じます。	15:30 ~ 16:30	相模の家

日本では25年、首都圏では173年ぶり!

# 金環日食を見よう!

5月21日(月)、日本の多くの地域で、太陽が月に隠され太陽がリングのように見える「金環日食」が見られます。非常に珍しい天文現象ですので、ぜひ見逃さないようにしましょう。ただし、日食観察は太陽を見ることとなりますので、やや危険も伴います。安全な方法で観察してください。

日食は朝早く始まります。日食のハイライト、太陽がリング状になるのは下の表にあるように午前7時31分～36分の5分間です。

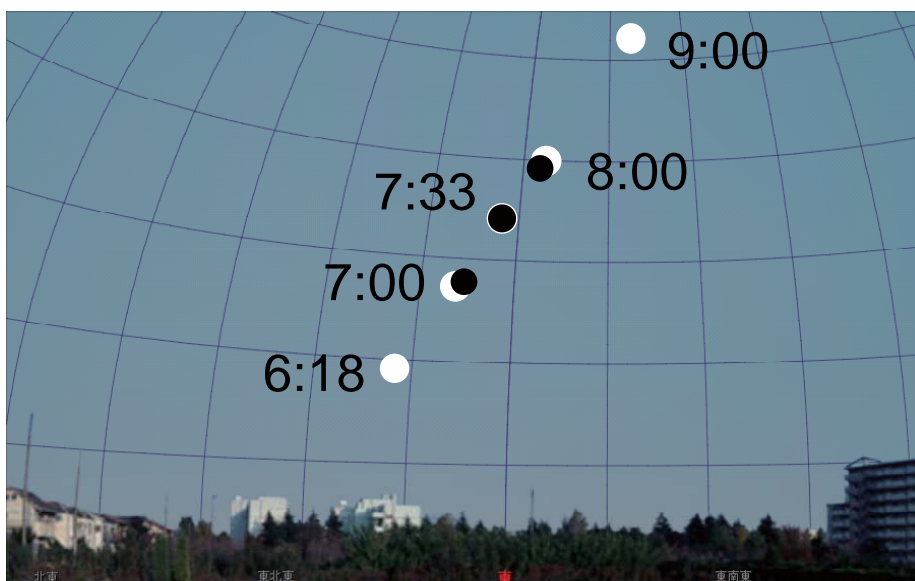


1987年、沖縄で見られた金環日食

平塚での日食の進み方

午前6時18分	日食のはじまり
午前7時31分	金環食のはじまり
午前7時33分	食の最大
午前7時36分	金環食のおわり
午前9時01分	日食のおわり

朝早いいため、日食のとき太陽は東の空に見えています。太陽の高度がやや低いので、なるべく東の空が開けた場所で日食を観察するのがおすすめです。



金環日食は太陽がリング状に見えます。皆既日食と異なり、太陽の一部が見えていますから非常にまぶしく、直接目で見ることはたいへん危険です。また下じき、サングラス、すずをつけたガラス、ネガフィルムの切れ端などを使用して日食を見ることも、目に見えない光を通してしまいますから、絶対にやらないようにしてください。

では、どのように日食を観察すればよいのでしょうか? 最近では、日食を観察するための日食めがねが市販されています。それらを利用するのがよいでしょう。



市販されている様々な日食めがね



ほかにも手鏡で太陽の光をはね返して壁に映したり、ピンホール(画用紙などの厚紙に針や画びょうで穴を開けたもの)を利用したりするなど、間接的に日食を見るのも安全な方法です。左の写真のように、日食の最中に木洩れ日を見てみると、地面に欠けた太陽の姿が映っていることがわかります。安全な観察方法については、博物館で資料をお配りしています。その資料やプラネタリウム、寄贈品コーナーの展示などを参考に、5月21日、安全に楽しく日食をご覧ください。

# 寄贈品コーナーも 金環日食

5月2日(水)～6月3日(日)

金環日食に向けて、寄贈品コーナーの展示も日食をテーマとした展示になります。5月21日の日食の詳しい説明や日食のしくみ、日食の安全な観察方法などを紹介します。過去や未来の日食情報など、豆知識も満載です☆

## 台湾からの実習生、来館

4月3日より、平塚市博物館に台湾から博物館実習生・莊易儒さんをお迎えしています。6月24日までの約3ヵ月間、博物館で様々な実習を行います。皆さんと顔を合わせる機会もあると思います。そのときはどうぞよろしくお願いいたします。

台湾からの実習生、莊易儒です、4月から6月24日まで、この平塚市博物館で実習するつもりです。私は大学院で博物館学を勉強しております。卒論テーマは「日本の地域博物館のあり方」なので、この実習を機として、実際に地域博物館の運営に参加し、地域博物館は一体どういう感じで地域と接するのか、この目で確かめたいです。まだ分からないことがいっぱいありますので、一生懸命勉強するつもりです。この3ヶ月間、どうぞよろしくお願いいたします。



## 古い写真を集めています

博物館では昭和50年ごろまでに平塚市とその周辺で撮影された写真を集めています。写真は博物館の資料として保存するとともに、平成24年度の夏期特別展で展示・紹介させていただく予定です。写真はアルバム・プリント・フィルム・デジタルデータのいずれの形で結構です。

### 募集する写真

- ・地域の歴史や暮らし、自然の移り変わりを物語る風景写真(自然景観・町並み・集落・田園・里山・道・川・海・鉄道・公共施設など)
  - ・大規模開発にともなう景観の変化に関する写真(旭地区・日向岡・岡崎などの宅地開発)
  - ・地域や家庭のくらしぶりが伝わる写真(服装・食卓・住まい・仕事・祭礼・子どもの遊びなど)
  - ・地域の歴史的出来事に関する写真(記念行事・台風や地震などの自然災害)
- ※ご提供いただく写真は、提供者本人が撮影したもの、または使用权をもつものとしします。

### 写真提供の条件

- ・ご提供いただいた写真は一度お借りして、複製をとってお返しいたします。
- ・複製させていただいた写真は展示や印刷物への掲示、インターネットでの公開など、博物館のさまざまな活動に使用させていただきます。

### 写真の提供方法

- ・写真またはアルバムを博物館へ直接お持ちいただくか、博物館までお電話でご連絡ください。

### 募集期間

5月31日(木)まで



平塚駅(昭和47年1月2日)原克己氏提供

5月

2	水		
3	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
		◎特別展展示解説	特別展示室
4	金	祝日開館	
5	土	◎特別展展示解説	特別展示室
6	日	◎博物館子どもフェスタ2012	全館
7	月	休館日	
8	火	地質調査会	工作室
10	木	石仏を調べる会	野外
11	金	古文書講読会	講堂
12	土	◎日食観察用ピンホール投影機を作ろう	講堂
13	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
14	月	休館日	
16	水	裏打ちの会	科学教室
		民俗探訪会	鎌倉市
17	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
18	金	古文書講読会	講堂
		お囃子研究会	講堂
19	土	地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		古代生活実験室	科学教室
20	日	◎ろばたばなし	相模の家
		相模川の生い立ちを探る会	江の島
21	月	休館日	
		○金環日食観察会	屋上
24	木	石仏を調べる会	特別研究室
25	金	古文書講読会	講堂
26	土	お囃子研究会	講堂
		天体観察会	科学教室
27	日	星まつりを調べる会	特別研究室
28	月	休館日	
31	木	休館日	

「花水川源流からのメッセージ」5月6日まで  
 「平塚と相模の城館」5月6日まで  
 寄贈品コーナー「金環日食」5月2日～6月3日  
 プラネタリウム「ゴッホが描いた星空」  
 プラネタリウム「金環日食」5月2日～6月3日  
 プラネタリウム「ろばたばなし」5月20日  
 プラネタリウム「描いた星空」

6月

1	金	古文書講読会	講堂
		◎お囃子研究会	講堂
		星を見る会	科学教室
2	土		
3	日		
4	月	休館日	
5	火	燻蒸休館	
6	水	燻蒸休館	
		◎星を見る会「金星の太陽面通過」	噴水前広場
7	木	燻蒸休館	
8	金	燻蒸休館	
9	土	燻蒸休館	
10	日	燻蒸休館	
		星まつりを調べる会	野外
11	月	燻蒸休館	
12	火	燻蒸休館	
13	水	燻蒸休館	
14	木	燻蒸休館	
		石仏を調べる会	金目地区
15	金	燻蒸休館	
16	土	古代生活実験室	科学教室
17	日	◎ろばたばなし	相模の家
18	月	休館日	
19	火	地質調査会	工作室
		裏打ちの会	科学教室
20	水	民俗探訪会	逗子市
21	木	展示解説ボランティアの会	野外
22	金	古文書講読会	講堂
23	土	お囃子研究会	講堂
24	日	平塚の古代を学ぶ会	野外
25	月	休館日	
28	木	石仏を調べる会	特別研究室
29	金	お囃子研究会	講堂
30	土	◎平塚の遺跡を歩く	野外
		地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の戦災と空襲を記録する会	特別研究室
		植物誌調査会	講堂

燻蒸休館

プラネタリウム幼児投影「だれがおひさま かけたの？」(5月14日)  
 プラネタリウム「太陽と星の動き」(5月15日)  
 寄贈品コーナー「地震と平塚の地盤」(5月29日)

☆: 展示・プラネタリウム ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示・プラネタリウムと行事

<特別展と関連行事>  
 ☆春期特別展「平塚と相模の城館」  
 会期: ~ 5月6日 (日)  
 ◎特別展展示解説  
 日時: 5月3日 (木)・5日 (土) 午前10時 午後3時  
 場所: 博物館特別展示室  
 <寄贈品コーナー>  
 ☆「金環日食」  
 会期: 5月2日 (水) ~ 6月3日 (日)  
 ※本誌2頁参照  
 <企画展>  
 ☆「花水川源流からのメッセージ—南から来た丹沢の岩石・化石展—」  
 会期: ~ 5月6日 (日)  
 <プラネタリウム>  
 ☆プラネタリウム番組「ゴッホが描いた星空」  
 内容: 市制80周年文化ゾーン3館コラボレーション事業として、棟方志功が敬愛したというゴッホの絵をテーマにした番組です。  
 投影日: 6月3日 (日) までの土、日曜日 (5/19、5/20を除く)  
 時間: (1) 午前11時 (2) 午後2時

☆プラネタリウム番組「金環日食特別投影」  
 内容: 5月21日の金環日食のしくみや観察方法を詳しく解説します。  
 投影日: 5月19日 (土)、20日 (日)  
 時間: 午前10時、午前11時、午後2時、午後3時  
 <申込制の行事>  
 ○金環日食観察会  
 日時: 5月21日 (月) 午前6時30分~8時  
 場所: 博物館屋上  
 参加: 往復はがきにイベント名、住所、電話番号、参加する方のすべての氏名を記入し、それぞれ5月7日 (月) までに申し込む。応募多数時は抽選。定員各回50人。  
 <自由参加の行事>  
 ◎博物館子どもフェスタ2012  
 日時: 5月6日 (日) 午前9時30分~午後4時30分  
 ※本誌1頁参照  
 ◎ろばたばなし  
 内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。  
 日時: 5月20日 (日) (1) 午後1時20分、(2) 午後3時  
 場所: 展示室1階「相模の家」

5月の休館日: 7日、14日、21日、28日、31日

あなたと博物館 40巻2号 通算425号 発行 平塚市博物館 2100  
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949  
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/